

『ぐるぐるちゃんとふわふわちゃん』

なが え あおい ぶん え ふくいんかんしよてん
長江 青／文・絵 福音館書店

ふゆのあさ、もりは ゆきが つもって
まっしろです。りすの ぐるぐるちゃんが
あそんでいると、うさぎの ふわふわちゃん
が やってきました。ふたりは ゆきの
うえで ぴょんぴょんしたり、ごろんごろんしたり、か
けっこをしたり、ゆきあそびを たのしめます。



『あかいてぶくろ』

はやし きりん ぶん おかだ ちあき え こみねしよてん
林 木林／文 岡田 千晶／絵 小峰書店

ちびちゃんの てを ふんわり つつむ
あかい てぶくろ。いつも ちびちゃんと
いっしょでしたが あるひ、ちびちゃんは
みぎの てぶくろを なくしてしまいます。みぎのて
ぶくろは、きつねにひろわれ、うさぎ、のねすみ、
りすと みんなに たいせつにされ、どうぶつたちを
あたためていきます。



『ようかい村のようかいばあちゃん』

もがみ いっぺい さく たねむら ゆき こ え
最上 一平／作 種村 有希子／絵
新日本出版社 913

ようかい村の ようかいばあちゃんは、
すみれちゃんの ひいおばあちゃんです。お正月に
ひとりで ようかいばあちゃんの ところへ とまりに
いった すみれちゃんは ふたりで たのしい じかん
をすごしました。でも、そのよる すみれちゃんは
ふしぎなものを みたのです。



『「イグルー」をつくる』

ウーリ・ステルツァー／写真と文
ち ば しげき やく しゃん ぶん
千葉 茂樹／訳 あすなろ書房 786

みなさんは「イグルー」を 知っていま
すか？北 極地方に住む、イヌイットとよ
ばれる人たちが作る雪の家のことです。ダンスがで
きるほど大きなイグルーも作れるそうです。雪を切り出
して、どのようにイグルーを作っていくのでしょうか？



さむい！ふゆが

やってきた



『吹雪の中の列車』

マト・ロヴラック／作 山本 郁子／訳
ささめや ゆき／絵 いわなみしよてん
989

ヴェリコ・セロ村の小学4年生は、全員
がまとまって協力し合う「子ども同盟」
を結成しました。同盟の子どもたちは、町
まで日帰り旅行に出かけましたが、猛吹雪にあい、
列車が動かなくなってしまいます。はたして子どもた
ちは、無事、村に帰ることができるのでしょうか？



『おしえて！あむあむさん』

ま べ か よ さく あさの え
間部 香代／作 浅野 みどり／絵
せかいぶんかしゅ
世界文化社

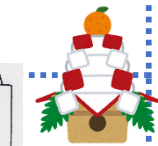
ひつじの あむあむさんは、もりのなか
の あみものやさん。ちいさくなった セーターを す
るするする〜と ほどいて、なにかを あみはじめ
ます。もりの こどもたちが あつまって みていま
す。さあ、なにが できるのでしょうか？



『きらきら』

たにかわ しゅんたろう ぶん よしだ ろくろう しゃん
谷川 俊太郎／文 吉田 六郎／写真
アリス館 911

雪の結 晶は、気温や湿度によって い
ろいろな 形になります。基本は六角形ですが、その
形は無限に変化し、まったく同じものは 二つとし
てないそうです。雪の結 晶の 美しい写真と、言葉の
きらめきを楽しめる 冬にぴったりの本です。



『つらら』

みずと さむさと ちきゅうの ちから』

ほそじま まさよ しゃん い じ えいしん ぶん
細島 雅代／写真 伊地知 英信／文
ポプラ社 451

ふゆの さむいあさ、つららを みつ
けたことは ありませんか？みずが こおるほど さむ
いとき、みずの したたる ところに つらは でき
ます。かたちも おおきさも さまざまな つらら、
どんなところに、どんな つららが できるのかな？



